

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	中部公民館施設管理事業				担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般事業		担当課	生涯学習課			
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	社会教育係			
	総合計画 新基本計画	施策等	4 文化スポーツ 16 生涯学習 2 学習活動を支援します								
			重点事業			実施計画事業					
	予算区分	款	10	項	5	目	2	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市公民館の設置及び管理に関する条例、小牧市公民館の管理に関する規則									
	目的	何・誰を対象に	中部公民館及びその利用者								
		どの様な状態にするのか	中部公民館は、商工会議所、子育て支援センター、プラネタリウムの複合施設で、広く市民に利用されており、公民館の施設管理を適切に行うことで、利用者の利便の向上を図る。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>■27年度実施内容 指定管理者(施設活用協会)へ管理運営を委託 ・施設設備等管理 ・施設利用の受付・貸出事務 ・プラネタリウム事業の企画・運営・投影作品制作支援</p> <p>■27年度直接経費の内訳 中部公民館管理運営委託料(81,713,621円) 駐車場用地借上料(6,770,916円) 中部公民館用備品購入費(107,700円)</p> <p>【27年度その他財源の内訳】 中部公民館使用料(3,591,605円) プラネタリウム使用料(1,277,950円) 商工会議所負担金(11,059,506円) 中部公民館資料複写代金(21,700円)</p> <p>■28年度直接経費の内訳 27年度と同様に実施する 中部公民館管理運営委託料(83,836千円) 駐車場用地借上料(6,771千円) 修繕料(6,800千円) ほか印刷製本費等(1,868千円)</p>									
受益者負担	有 中部公民館使用料 3,591,605円, プラネタリウム使用料 1,277,950円										

コスト			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
	費用	直接経費		千円	90,112	100,325	88,593
正職員		従事者数	人	0.11	0.11	0.11	0.11
		人件費	千円	605	605	605	605
その他職員		従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	90,717	100,930	89,198	99,880	
対前年比		%		111.2	88.3	111.9	
財源	一般財源		千円	74,515	80,007	73,247	81,747
	国・県支出金		千円	0	0	0	0
	その他財源		千円	16,202	20,923	15,951	18,133

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	績	開館日数	日	目標	—	—	—
実績				307	308	308	
中部公民館申請件数		件	目標	—	—	—	—
			実績	2,308	2,346	2,336	
プラネタリウム投影回数		回	目標	—	—	—	—
			実績	702	740	780	
成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28	
中部公民館利用人数	人	目標	—	—	—	—	
		実績	38,833	41,132	40,265		
プラネタリウム利用人数	人	目標	—	—	—	—	
		実績	20,655	21,310	26,154		

事業の自己評価	事業の達成状況	公民館の施設の安全管理、会場の貸し出しを円滑に実施した。また、プラネタリウムを拠点に各種行事を開催するとともに、小学生の学習教材に対応した学習番組や幼児向け番組を自主制作し、プラネタリウムの利用者は増加し、過去最高であった。中部公民館は子育て支援センター等を併設していることから若い世代の利用が比較的多く、プラネタリウムは親子や市外の方の利用が多い。		
	事業実施における課題	中部公民館が開館してから30年が経過しており、施設、設備も老朽化し、修繕等が増加している。		
	事業を縮小・廃止したときの影響	公民館の安全管理や設備の修繕が滞り、安全に施設を利用することができなくなる。		
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	和式トイレ等を暖房機能付洋式トイレに変更する修繕を行い、高齢者をはじめ、市民の皆様に快適に利用していただける環境を整える。	
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	市民が安全に快適に中部公民館を利用するためには、中部公民館施設管理事業は重要で、事業の継続が必要である。		
	29年度以降の改善案	施設を安全に利用してもらうために、安全管理を行うとともに、設備の故障等に適切に対応し、計画的に設備の更新等を図っていく必要がある。プラネタリウムは近隣の天文普及拠点として市外にも積極的に宣伝をしていく。また、こまなびネットフェイスブックを活用し、講座やサークル活動などの情報を積極的に発信していく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。引き続き指定管理者のモニタリングに努め、利用者アンケート結果を活かすなど利用者の満足度が高まる施設運営に努めること。